

【問】①地域のちから推進部では防災・災害対策の視点で、どう事業を展開していくのか。

また②区内商品券と交換できるボランティアポイントの発行を、中野区と同様に当区でも是非実施すべきと考えるがどうか。

さらに、都ではNPO団体等を公募し助成する制度を始めた。当区もこれら諸団体と連携していくべきと考えるがどうか。

【地域】①改めて、高齢者の見守りをめぐる具体的な充実策等について協議を進めている。

【福祉】②どの分野、条件でポイント制度導入が適当か全庁的に検討を進める考えである。

また、現在、都事業への参加を希望する区内NPOもあり、今後協議を進めたいと考える。

被災地応援物産展の継続開催を

【問】被災地応援物産展を継続開催すべきと考えるがどうか。

【産業経済】今後、区民まつり等の大型イベントで被災産地支援の物産販売ができないか、関係機関等と検討・調整していく。

ユニークな省エネ対策をしよう

【問】省エネ等のアイデアを区民から募集し、節電意識の向上を図るべきと考えるがどうか。

【環境】ユニークで効果的な節電の取り組みの募集についても、実施に向けて検討していく。

交通網拡大の実現を図れ

【問】都市交通マスタープランを、具体的にどう検討し実現を図っていくのか。わが党が要望してきたバス路線網拡大の実現化についてもあわせて伺う。

【都市建設】区内を16ブロックに分割し、ブロックごとに交通データに基づいたカルテを策定し、検討を行っている。

また、要望路線の早期実現を目指し、引き続き関係機関と協議を進めていく。

日暮里・舎人ライナーの改善を

【問】女性専用車両の導入を都へ強く要望すべきだがどうか。

【都市建設】現在の混雑状況を踏まえ、区民・利用者の安全安心の利用環境等のため、導入を検討するよう都へ要請していく。

を作成し、多くの方に活用していただく予定である。

さらに、区広報等への掲載、老人クラブ等各方面へのチラシ配布のほか、地域で行う体操教室での取り組みの様子をプロモーション番組として放映する等、様々な方法でPRに努めていく。

【地域のナースコール】の早期開始を図るべき

【問】在宅継続を願う高齢者や、すぐには施設入所できない要介護者のために、「地域のナースコール」(24時間地域巡回型訪問サービス)の一日も早い開始が必要である。

法改正により、来年4月からこのサービスが制度化されるが、円滑に実施できるよう、モデル的に開始してはどうか。

【福祉】モデル事業については国の支援の動向を見ながら、実施を検討していく。

【緑のカーテン】の実施拡大を

【問】温暖化対策だけでなく、節電対策としても有効な「緑のカーテン」の、小・中学校へのさらなる推進が必要だがどうか。

また、園芸は障がい者にとっても特性を生かせる作業であり、福祉施設への取り組みも進めてはどうか。

【環境】学校現場やPTAとの連携、協力を確保しながら、設置校を増やしたいと考える。



また、障がい者施設の中には、鉢物栽培や園芸作業を行う等、「緑のカーテン」づくりのノウハウがあるのでは、今後、運営法人等へ事業の協力を打診しながら取り組んでいく。

【熱中症対策を進めよ】

【問】①熱中症予防の啓発活動をどのように進めていくか。

また、寝たきりの高齢者や乳幼児等、高リスクの方々への対策を推進すべきと思うがどうか。

さらに、②「あんしんネットワーク」等を活用し、見守りを通して熱中症対策を推進すべきと思うがどうか。

【衛生】①広報紙等で熱中症予防の啓発を行うとともに、暑さ指数が厳重注意レベルとなった場合は、防災行政無線やAメールにより注意喚起を行う。

また、保冷枕を5千個購入し、所管の要請に基づき貸与する。貸与先の福祉部では認知症や寝たきりの高齢者等、子ども家庭部では0〜1歳の保育園児等、いずれも体温調整が上手にできない方を対象に活用していく。

【福祉】②「あんしんネットワーク」の専門協力が安否確認を行う際、熱中症予防のチラシを持参し、対策も啓発する。

【救急医療情報キットの活用を！】服用する薬は、本人の病状によって常に変化する。調剤薬局で渡される「お薬情報シート」の入れ替えを推奨する方法も良いと思うがどうか。

【福祉】通院投薬治療中の高齢者の場合は、「お薬情報シート」をこまめに入れ替えるよう説明書に一文を追加するとともに、配付窓口での説明も加えていく。

【問】児童の安否情報を、学校

区民の命と健康を守る 施策の充実を！

公明党

佐々木まさひこ 議員



ハウがあるので、今後、運営法人等へ事業の協力を打診しながら取り組んでいく。

【教育指導】今回の大震災では、各小学校が「学校メール配信システム」を活用し、保護者あてに引き取り依頼等を通知した。

【問】児童の安否情報を、学校

【福祉】通院投薬治療中の高齢者の場合は、「お薬情報シート」をこまめに入れ替えるよう説明書に一文を追加するとともに、配付窓口での説明も加えていく。

【問】児童の安否情報を、学校

【福祉】通院投薬治療中の高齢者の場合は、「お薬情報シート」をこまめに入れ替えるよう説明書に一文を追加するとともに、配付窓口での説明も加えていく。

【問】児童の安否情報を、学校

【福祉】通院投薬治療中の高齢者の場合は、「お薬情報シート」をこまめに入れ替えるよう説明書に一文を追加するとともに、配付窓口での説明も加えていく。

日本共産党足立区議団

原発からの撤退・災害対策 福祉のまちづくりを

日本共産党

針谷 みきお 議員



【問】福島原発事故は明らか

【区長】各原発の安全性を高め、安定的な電力供給を行いつつ、時間をかけて安全性の高いエネルギーへの転換を図っていくべきと考える。

【問】今回の法改正で、ヘルパーによる要支援者への家事援

【問】今回の法改正で、ヘルパーによる要支援者への家事援

安心の保育施策を！

【問】区長は「子ども重視」と言いながら、法で定められた認可保育園の増設を怠り、子育て支援にも区民生活を守る姿勢にも欠ける態度である。

安心して子どもを預けて働ける足立区をつくることは区政の重要課題であり、今こそ、区民の強い要望である認可保育園建設に転換すべきと思うがどうか。

【子ども】短時間就労世帯の待機児童が多い等の当区の特徴により、認証保育所、小規模保育室の整備や、家庭福祉員の増員等による対策を進めていく。

【問】①防災計画を抜本的に見直し、災害対策を強化せよ。

②学校プールの放射線量を測定し、安全確認後に授業を行え。

③放射線量の高い地域での核種別測定及び観水路等も測定せよ。

④万一に備え、安定ヨウ素剤の備蓄をせよ。

【危機管理】①津波・液状化・長周期地震動、さらに大規模停電、原発事故による放射線対策も早急に取り組んでいく。

また、避難所等の機能を最大限発揮するための初動マニュアルの策定等を行っていく。

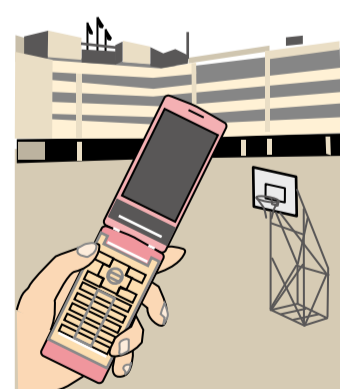
②毎日水換えするプールを除く、全屋外プールの水質検査を行う。

③今後検討していく。

④現状で服用するケースは考えにくいことから、各自自治体の緊急度等に合わせ、計画的に行う必要があると考える。

要支援者から介護保険サービスを取り上げるな

【問】今回の法改正で、ヘルパーによる要支援者への家事援



用語解説

* 暑さ指数：環境省が「熱中症予防情報サイト」で発表している湿球黒球温度(WBGT)のこと。指数が高いほど、熱中症の危険度も高まる。屋外活動をする際に、熱中症を予防する指標となる。